

令和5年度第1回阿倍野区区政会議全体会(令和5年6月14日開催)でのご意見と対応一覧

[分類]

- ①当年度(5年度)において対応
- ②6年度に対応予定
- ③6年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	意見内容(要約) (公表)	対応(回答) (公表)	分類
1	【小中学生への防災研修について】 防災ジュニアリーダーの訓練で中学生の災害対応スキルを上げていくのを否定はしないが、やはり義務教育年代では震災で生き抜く力を育てるという教育を中心に据えたいという考えで、防災ジュニアリーダーという制度もあるのではないかなと思う。 (今井委員)	阿倍野区における防災の取組の柱の一つに若年層の防災意識向上を掲げています。日中に阿倍野区内におられる中学生等若年者層の方に、災害時の初期初動対応で、後方支援などを担っていただくため、阿倍野区独自に中高校生を対象とした防災ジュニアリーダー制度を創設し、研修・訓練を通じて、災害に対するスキルや知識をつける取組を行っています。 また、防災授業として、小学校低学年では「命を守る行動」についての学習、高学年では、煙から命を守る体験などを土曜授業などで行い、若いうちから防災意識を養っていただくことで、命を守り、生き抜く力を育てる取組を実施しております。 今後とも若年層の防災意識向上の取組を進めてまいります。	①
2	【マンション防災計画について】 自宅のマンションが、マンション防災計画事業のモデルマンションとなり、事業者や区役所のサポートで、当マンションの防災計画が完成した。目標数値が未達成だが、当マンションはこの事業でサポートいただいたおかげで、理事はもちろん、住民の災害やその対応などについての意識が各段に上がり、マンション内の危険箇所の検討や備蓄の検討など大変意義のある事業に参画させていただけた。小さな一歩かもしれないが、継続して取組を発信していくことがいろいろな課題解決につながっていくと思う。 (高橋委員)	マンション防災の取組につきましては、モデルとして高松地域・常盤地域・文の里地域からマンション規模を勘案し3棟を選定し、マンション防災計画に高い見識を持つ事業者が各マンションの理事会などにファシリテーターとして入り、各マンションの防災計画の作成を支援しました。また、マンション防災計画作成に向けたリーフレット及びひな形が完成しました。 さらに令和5年2月に区内の50戸以上の分譲マンション62棟を対象にアンケートを行い、回答のあった35棟に対して、マンション防災計画の作成に向けてのリーフレットを送付しております。 防災計画作成に関心があるなど、反応のあったマンションにはこちらからアプローチし、マンションでの防災の取組が今後も展開できるよう出前講座や理事会での意見交換への参加などに努めてまいります。	①
3	【音響信号機について】 視覚障がい者用の信号機が、夜20時から朝8時まで、近隣住宅への配慮のため、音がならない。早朝より出勤している視覚障がい者にとっては音響は必要なので、周囲の人が視覚障がい者に気づいて音響信号機のボタンを押していただくとありがたいが、なかなか気づいてもらえない。阿倍野区の広報紙で、このような内容の発信をしてもらえないか。また、文の里駅のエレベーターにも、障がい者に配慮した案内なども行っていただきたい。 (金光委員)	広報あべの9月号の交通安全キャンペーンに合わせて、ご提案の内容を発信する記事を掲載する予定で準備を進めます。また、即時性のある阿倍野区ツイッターでの発信をさせていただきます。 春秋の交通安全運動期間に関係機関や、阿倍野区身体障がい者団体協議会を含む各種団体と会議、啓発の取組を行っています。今回いただきました文の里駅のご意見に関しましては、今春の交通安全運動における会議の中で、同様の意見があり、阿倍野警察署も現場確認をしていると聞いております。阿倍野区としましても、関係機関や各種団体とも連携して、引き続き取り組んでまいります。	①
4	【放置自転車対策の取組について】 サイクルサポーターとして放置自転車の取組を行っているところ、ほとんどの人が協力しているが、一部の人は守らない。啓発だけではなく強制力のある対応をしていただきたい。 (北村委員)	平素よりサイクルサポーターの皆さまには啓発活動や自転車整理等にご尽力いただき、感謝しております。 サイクルサポーターの活動については、強制力はありませんが、別途建設局と連携して期日を定め、放置自転車の撤去も行ってまいります。建設局へご意見を伝え、阿倍野区としましても啓発を工夫してまいります。	④
5	【小学校の安全対策について】 丸山小学校の正門付近の安全対策として、「道路に沿った形で学校敷地内に通路を造ることを考えている」との話だったが、もう少し具体的なイメージを教えてください。 (今井委員)	具体的には、道路との境界にある既存の塀をガードレールに見立てて、その内側に敷地内通路を設けることを教育委員会で検討いただいています。	①
6	【子どものICTの促進について】 ICTを取り入れた学校教育による効果について、どこかで情報発信されているのか。 (荒田委員)	大阪市では教員や児童生徒によるICTの積極的・効果的な活用をさらに推進し、情報活用能力の育成や学力の向上につなげていくために、本市学校におけるICT機器の活用方策や、ICT環境整備のあり方などをまとめた「大阪市学校教育ICTビジョン」が、大阪市ホームページに公表されています。この「大阪市学校教育ICTビジョン」の中で、過去のモデル校における取組についての効果として「学習意欲の向上」、「学びの深化」、「学習理解度の向上」などが記載されています。	①
7	【地域福祉活動について】 みんなで支えあう地域づくりには、区政会議意見として、「当事者の声を聞いてニーズを把握してモデル的な活動ができればよい」と、「区民の方が気にかける意識を高め、行動につなげるために身近なテーマで小さな集まりや活動を企画できるとよい」と記載されているが、具体的な取組に、もう少し阿倍野区ならではの斬新な取組が薄いような気がする。もう少し阿倍野区ならではの斬新な取組がほしい。 また、地域の人や学生等が、当事者の発信を受け、みなさまが楽しく地域の中で支えあう、福祉的な土壌が自然に生まれていくような、阿倍野区ならではの新しくわくわくするような具体的な取組が生まれたい。 (中村委員)	地域の福祉活動を担っている様々な団体等が集い、新たなニーズや当事者の方から意見をお聞きする場を設けて、運営方針や地域福祉計画の策定に活用してまいります。 当事者の参画という点で、阿倍野区ならではの新たな動きとして、例えば区内で認知症のサポート活動を行うグループでは、講演会で認知症ご本人が講師となり、また産直野菜の販売を行うなど、自分らしく活躍できる場を提供されています。こうした先進的な事例については、情報の共有化を図ることにより、各種取組の継続発展や新たな取組の創出につなげてまいります。 また、地域福祉活動については、区民モニターアンケートにその内容も例示しており、令和5年度事業計画書(経営課題3-1の現状欄)にも同様の内容を掲載しております。 今後も支援を必要とする人を適切な支援につなげるとともに、相談支援機関や窓口の周知・広報を進めてまいります。	②
8	【自治会・町内会の加入促進について】 町会費で私道のところに街灯をつけたり防犯カメラをつけている。 ここ何年か、広報紙にも毎月「自治会・町内会に加入しましょう」とお知らせをさせていただいているのはありがたいんですが、区役所はどのように考えられているのか。 (家永委員)	町会は、大阪市において、住民に一番身近な組織であり、地域コミュニティの醸成、活性化を図るために重要なものと認識しております。 町会への加入については、広報紙において毎月加入促進の記事を掲載しており、ホームページでも掲載しております。 今年度は各連合の紹介記事も掲載する取組を始めました。 町会加入促進のチラシについても街路防犯灯や防犯カメラにも町会費が使われていることがわかるような内容としており、阿倍野区へ転入されてこられた方へお渡しする「転入バック」に入れてお知らせをしております。 今後、引き続き周知するとともに、地域のみなさまのご意見もお聞きしながら取組を続けてまいります。また、本市の動向も見ながら取組も検討してまいります。	①
9	【若手職員の育成・登用について】 「改革を推進する職員づくり」ということで、職員の研修を含めて区政をレベルアップしてほしい。若い方を登用して、若い人の力を十分伸ばしていただきたい。 (久保委員)	改革を推進する職員づくりの取組のひとつとして、採用1年目から4年目の職員を対象に人材育成研修を実施しています。1年かけて、区役所の区民サービスをよりよくしていくための改善策を話し合っ、提案するという内容です。また、大阪・関西万博に向けた機運盛り上げについても、若手職員も含むプロジェクトチームで様々なアイデアを出して取り組んでいます。今後とも、若手職員の育成の場となる機会を設けてまいります。	①
10	【ジェンダー社会について】 ジェンダー社会の問題というのは、阿倍野区役所のこの課題には特に入っていないと思いますが、社会的にもやはり大事な課題だと思います。男を中心ではなかなか視野に入らないこの問題を一歩進める必要があるのではないかなというふうに思います。 (今井委員)	人権の取組の一つとして、ジェンダーの問題も含めて啓発や区役所を会場として特設人権相談などを行っています。 なお、避難所開設や運営方法などにも女性の視点を踏まえ取り組んでいます。	①

[分類]

- ①当年度(5年度)において対応
- ②6年度に対応予定
- ③6年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	意見内容(要約) (公表)	対応(回答) (公表)	分類
11	<p>【区における感染症対策について】</p> <p>大阪ではコロナ関連の死亡率が最悪だという結果が出ており、大阪の医療体制、感染症対策は十分でないということが明らかになったと思う。対策は府や市で考えないといけないと思うが、再び感染症が流行することを考えて、区役所でも、準備しておく必要があるのではないか。 (今井委員)</p>	<p>感染症対策については、大阪市の場合は保健所が中心となって対応しますが、区役所においても、感染者が阿倍野区民の方、もしくは阿倍野区に通勤・通学されている方については、保健所と情報共有し、引き続き感染症対策に連携して取り組んでいます。</p>	④
12	<p>【区政会議の運営について】</p> <p>委員からの質問・意見に区役所が答える一問一答方式は、区役所の発言に時間をとり、委員の発言機会を狭めているのではないか。区役所の発言はまとめて一括して行うのも一つの方法だと思う。また、総合討論もあってもいいと思う。自由な雰囲気でも議論するような場からアイデアは生まれてくるのではないか。 (今井委員) 自由な雰囲気での討論や席の近い状態で話ができたら深まる気もする。 (森委員)</p>	<p>委員の発言機会については、できる限り確保するよう区政会議の進め方を工夫してまいります。また、昨年度から区政会議各分会ごとに勉強会を開催し、自由に発言できる機会を設けました。今後とも引き続き、議論を深めたり、アイデアが生まれるような工夫をしながら運営してまいります。</p>	①
13	<p>【運営方針にかかる予算説明について】</p> <p>地域の民主的な行政に参加できる区政会議委員にとって、重点的な予算措置や予算執行に関して検証できる情報をいただきたい。 (北村委員)</p>	<p>重点的な予算措置や予算執行に関して検証できる資料や説明については、次回以降の区政会議において、よりわかりやすい情報提供ができるよう工夫してまいります。</p>	①
14	<p>【運営方針にかかる目標達成について】</p> <p>目標未達のところについては、その原因が明確になっているのか、今後の改善点など考えておられるのか知りたい。 (荒田委員)</p>	<p>各具体的取組の目標が未達成となっている課題・改善策については、「令和4年度阿倍野区運営方針(自己評価)」に記載しております。詳細は、各具体的取組の「自己評価」欄の「プロセス指標の達成状況」が「②」となっている取組が目標未達成で、「課題」と「改善策」の欄に各々記載をしております。</p>	①